



～三味線法話とは～
三味線を伴奏楽器として
聞きなじみのある歌を
皆さんと一緒に歌い
スクリーンを使用し
仏教のお話を
わかりやすく
お伝えします

しゃみせんほうわ
三味線法話

浄土宗 西光寺住職

寺尾 昌治
三味線坊主

プロフィール

昭和54年 岸和田市生まれ
8歳の時に祖母に連れられ日本民謡を始める
15歳で三味線を始める
日本民謡 京極流に師事
佛科大学卒業後、春木 西福寺(大橋寛順住職)の
元で4年間修行
平成18年 西光寺の住職となる
平成21年 三味線と佛教法話を組み合わせた
「三味線法話」を始め「三味線坊主」を名乗る
寺院法要での演奏、講演会、病院や施設での慰問
被災地への演奏ツアーなどで幅広く活動する
佛科大学大学院浄土学専攻修士課程修了
浄土宗 西光寺住職
総本山知恩院布教師
大本山百萬遍知恩寺布教師
浄土宗二級法式教師
浄土宗芸術家協会会員

三味線法話 ～講演テーマ (一例) ～

- 人生に彩りを
これまでの人生を振り返り、これからの人生を明るく過ごすためのおはなし
- 民謡で語る「四苦八苦」
仏教のこぼ「四苦八苦」は全部で幾つの苦しみなのか民謡を唄い、紹介する
- あたりまえにありがとう
「あたりまえ」と「ありがとう」正反対の言葉をつなげる仏教のおはなし
- お坊さんと考える「終活」
自らの人生の終わりをどう迎えるのか、お坊さんと一緒にその在り方を考える
- いのちに寄り添い、いのちを想う
生まれてきた「偶然」と迎える死の「必然」長さは違えど大切にしなければならない命の理由を学ぶ
- あきらめるのは悪くない
「あきらめる」という言葉の本来の意味とは 「あきらめる」ことで見える新しい生き方



法話、講演会、演奏会、三味線指導等、ご要望に応じて承ります

お問い合わせ 浄土宗 西光寺 住職 寺尾 昌治
596-0044
大阪府岸和田市西之内町38-5

電話 072-445-7233 (FAX兼)
携帯 090-2381-5421
メール teraoshow@gmail.com